

洗足学園音楽大学附属図書館 洗足こども短期大学附属図書館

2012 図書館便り

第三巻 第二号

発行日 2012年7月17日

巻頭言

館長 澤田篤子

目次:

巻頭言（図書館長）	1
私の推薦図書（柳井先生）	1
私の推薦図書（遠藤先生）	2
学生リクエストのご案内	4
図書館サポーターから一言	6
図書館員からの推薦コーナー	7
図書館からのお知らせ	8

図書館ではさらなる「質の追求・向上」を目指して3年目に入りました。昨年度は震災の影響により延べ入館者数がやや減少したものの、図書・楽譜・視聴覚資料の貸出件数が増加し、特に図書の貸出が4割増となりました。インターネットなどのメディアの多様化により、若者の「活字離れ」が懸念されている昨今ですが、本学図書館ではそれとは逆に、より一層「活字」への親しみは増しています。図書・楽譜・視聴覚資料という従来の媒体とデジタル媒体の双方によるハイブリッド図書館を目指す本学図書館ですので、皆様が両者をバランス良くより積極的に活用されるようお手伝いしてまいります。

そのひとつとして4月より、図書館サポーターによる資料検索などのサービスを始めま

した。サポーターは本学の学生・院生から募り、事前の研修を経て、平日の13時～19時に勤務しています。利用者目線から親切に助言しますので、不明なことがありましたら、サポーターに相談してください。また学生・院生・専攻生が勉学に必要な資料を、図書館委員会の審査の上、購入する「学生リクエスト」の制度もありますので、積極的に活用してください（詳細は本号に掲載）。

東日本大震災からはや1年4ヶ月余りが経ちました現在、東日本はその被害の影響をいまだに背負っています。図書館も昨年に引き続き、節電等による対応に努めますので、来館者の皆様にはどうかご理解ご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

＜私の推薦図書＞【柳井郁子先生(短期大学・幼児教育保育科)】

書名:『教育入門』
著者:堀尾輝久
出版:岩波書店(1989年)
ISBN:4004300541
定価:798円
バーコード番号:J0396622

今日、学級崩壊、学力低下といった日本の学校教育をめぐるさまざまな問題が議論され、解決策が模索されています。こうした問題を考えるにあたって、教育とは何か、学校とは何か、わかるとはどういうことか、といった教育に関する本質的な問いに答えようとする本書は、多くの視座を与えてくれます。第I部では近代教育の歴史をたどることにより学校の成り立ちを明らかにし、第II部では発達研究や心理学の知見をもとに発達と学習について追究しています。

初版から20年を経てもなお、本書が指摘する「過剰な教育」のもとでの教育不在」という問題状況は改善されておらず、教育現場での子どもの権利思想の実現についても多くの課題を抱えています。「学ぶっておもしろい」「わかるって楽しい」という子どもたちの実感をとまなう学びとはどういうものなのか、そしてそれはいかにして実現可能なのか、といった本書の提起するテーマは、子どもに関わるすべての人に考えてもらいたい問題です。

＜私の推薦図書＞

【遠藤紀明先生(音楽学)】

【図書】 / ゲーテ 『ファウスト』 その2

書名：『ファウスト』

(第1部、第2部)

著者：ゲーテ 訳 高橋義孝

出版：新潮社(新潮文庫)

ISBN：4102015035 (第1部)

4102015043 (第2部)

定価：第1部：476円、

第2部：667円

バーコード番号：J054025Z、

J054026-

ゲーテの『ファウスト』にかかわる文学作品Ⅰ

ゲーテの『ファウスト』の元となった16世紀の民衆本『ヨハンネス・ファウスト博士の物語』(1585頃)には翻訳(国書刊行会1988)がある。しかし、より重要なのはイギリスの詩人・劇作家であるマーロウ(Christopher Marlow 1564-1593)の戯曲『ドクター・フォースタス(Dr. Faustus)』(1601)である。この作品は旅行の劇団によってドイツ各地で上演され、ゲーテが人形劇で自ら遊んだ物語もこの作品が元となっている。そして、もうひとつイギリスの詩人バイロン(George Gordon Byron 1788-1824)による劇詩『マンフレッド(Manfred)』(1817)(翻訳は現在絶版)を紹介しておこう。この作品はゲーテが描いた主人

公ファウストのキャラクターに触発されて書かれたが、一方ゲーテはギリシア独立戦争(1821-27)に身を投じ若くして亡くなったバイロンの才能を惜しみ、『ファウスト』第二部の中にその面影を描いている。なお、『マンフレッド』にかかわる音楽として、チャイコフスキー(Peter Ilyich Tchaikovsky 1840-93)の劇的交響曲『マンフレッド』をご存じの方は多いだろうが、ここではシューマン(Robert Schumann 1810-56)の劇付随音楽『マンフレッド』(1849)をお薦めしたい。とりわけビーチャム指揮ロイヤル・フィル、BBC合唱団による演奏は、朗読部分の役者がすばらしく、まさに美しい「英語」を堪能できる。

ゲーテの『ファウスト』にかかわる文学作品Ⅱ

ゲーテの『ファウスト』にかかわる文学作品として忘れてならないのはトーマス・マン(Thomas Mann 1875-1955)の晩年の大作『ファウスト博士(Doktor Faustus)』(1947)(翻訳は現在絶版)である。シェーンベルク(Arnold Schönberg 1874-1951)がモデルといわれる作曲家アドリアン・レーヴァーキューンの生涯を縦糸に、20世紀ドイツの歴史を横糸として織りなされるこの長編小説は、音楽に対しきわめて造詣の深かった作者の、芸術と歴史に関する深い洞察に満ちている。そして、この小説にかかわる重要な映画作品がある。ルキノ・ヴィスコンティ(Luchino Visconti 1906-76)監督『ベニスに死す』(1971)である。全編にマーラー(Gustav Mahler 1860-

1911)の交響曲第5番第4楽章アダージェットが流れ、マーラー・ブームを確立させたことでも有名なこの映画は、トーマス・マンの中編小説『ベニスに死す(Der Tod in Venedig)』(1912)を原作とするが、脚本のさまざまな部分で『ファウスト博士』のプロットが用いられており、前者を枠組みとして後者の内容を盛り込んだ作品といってよい。監督のヴィスコンティは原作の主人公である作家アッセンバッハを、作曲家とし(マーラーがモデルとされる)、映画全体をもって自身の耽美的な芸術観を描こうとする。いやしくも「芸術」にかかわろうという者なら一度は観ておくべき映画である。

<私の推薦図書>

【遠藤紀明先生(音楽学)】 続き

ゲーテの『ファウスト』にかかわる漫画

日本漫画界の巨匠であった手塚治虫(1928-89)は、そのキャリアの節目においてゲーテの『ファウスト』を三回とりあげている。最初の作品は二十代初めの『ファウスト(物語)』(1950)、次いで四十代に入ってから『百物語』(1971)、そして最後が晩年の60代になろうとする1988年に朝日ジャーナルに連載し、未完に終わった『ネオ・ファウスト』である。最初の作品はまさにゲーテの作品の漫画化であったが、あとの二作品はゲーテの原作をパラフレーズした作品である。特に『ネオ・ファウスト』はゲーテ作品のプロットを借りながら手塚の社会哲学を語

る作品であり、未完に終わったこともあって全体像をつかみにくい。『百物語』は『ファウスト』の世界を日本の戦国時代に移し替え「愛による救済」を描いた作品であり、油ののりきった作画のタッチもすばらしく、是非ともお薦めしたい。もうひとり、ゲーテのファウストに影響を受けた漫画化として、やはり巨匠の水木しげる(1922-)の名も忘れてはならない。特に『悪魔くん(復活)千年王国』(1963-70)では伝説のファウスト博士がメフィストを呼び出すにあたって重要な役割を果たす。素晴らしい作品なので一読をお薦めしたい。

ゲーテの『ファウスト』とロック

「ファウスト」というドイツのロック・バンドがあることをご存じの方もおられるだろう。彼らはクラウト・ロックと呼ばれる1960年代から70年代にかけて当時の西ドイツに誕生した実験的ロック・バンドのひとつであり、現代のノイズミュージックやインダストリアルミュージックの源流とみなされている。1970年の結成以来、長期中断もあったが、現在に至るまでほぼ隔年でアルバムをリリースしている。ファーストアルバムが『ファウスト(Faust)』(1971)であり、そのジャケットには拳骨(独: Faust)がプリントされていたし、彼ら

の公式ホームページにもメタルの拳骨が描かれていることから、ゲーテとは直接関係ないと思える向きも多いが、「ファウスト」というバンド名をつけるにあたってゲーテの『ファウスト』が念頭にあったことは間違いない。なお、このバンドをとりあげた評論として、明石政紀著『ドイツのロック音楽—またはカン、ファウスト、クラフトワーク』(水声社2003)を紹介しておこう。クラウト・ロックについて詳述した著作は他にみあたらないので、貴重な文献であると同時に読んで面白い。大学図書館に入っている。

【図書館における学生リクエストのご案内】

希望する楽譜やCD、図書などが図書館に所蔵されていない場合、学部生、大学院生、専攻科生の皆さんは、以下の要領にて資料購入をリクエストすることができます。

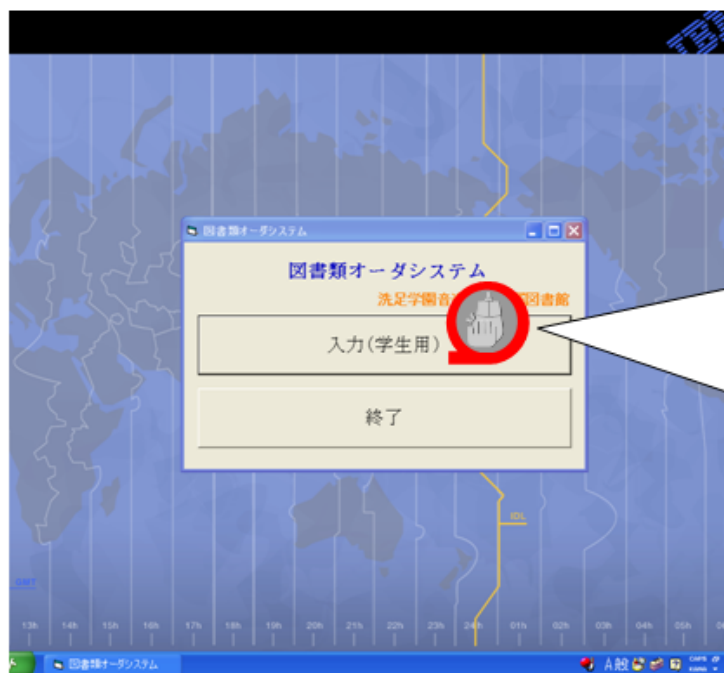
- ①対象
 - ・原則として、学習・研究活動に使用する楽譜、CD・DVD、図書等
- ②価格等の条件
 - ・原則として1点当り1万円以内、月に5点以内、年間で合計30点以内。
但し、学習・研究活動に必要と認められる場合は、1万円超の資料でも受け付けることとします。
- ③申し込み方法
 - ・図書館内のリクエスト専用パソコンにて、所定の項目に入力をお願いします。
- ④審査
 - ・図書館委員会の先生方に購入の可否を審査していただきます。審査の結果、購入が見送りとなった場合は、リクエスト専用パソコンにてその旨ご連絡します。
- ⑤入荷のご連絡
 - ・資料入荷後、装備、データ登録等を行なって、閲覧・貸出可能となります。
閲覧可能となった際には上記同様、リクエスト専用パソコンにてご連絡します。

その他、不明な点がございましたら、図書館カウンターまで問い合わせてください。
皆さんの学習・研究活動を充実させるため、リクエスト制度を大いに活用して下さい！

なお、楽譜等の探し方がよくわからない、本当に図書館にないか確認してほしい、などといった場合は、図書館サポーター（平日の13時から19時まで受付）、もしくは図書館職員に相談してください。

学生リクエストの申込み手順（図書館内の専用パソコンから入力）

1.



学生リクエスト

専用パソコンからリクエストフォームに詳細を入力。

①最初に左の初期画面でをクリック。

2

②学籍番号入力

③ジャンル選択
選択 (F4) をクリックすると資料ジャンルが選べるので、リクエストしたい資料を選択し、**決定 (F5)**

3

④リクエスト内容を詳細に入力 (商品番号なども含む)
 該当するものが複数あると受付できない場合があります。

⑤受付後、絶版で入手不能の場合などは本欄に回答いたします。
 2の画面で、「修正」をクリックすると、リクエスト資料の現在の状況が見られますので、確認するようにして下さい。

《注意事項》

- ・図書館では、原則としてアマゾンなどのネット上で流通しているものや、中古品の購入はしておりません。ご了承ください。
- ・洋書・洋楽譜は国内代理店に在庫がない場合は海外からの取り寄せになり、納品まで平均3ヶ月ほどを要するケースもあります。お急ぎの場合はご相談下さい。

【図書館サポーターから一言】

音楽学部3年 儀保 藍里（声楽コース）

図書館サポーターを始めてから3ヶ月が経ち、楽譜検索や配架作業もだいぶ慣れてきました。初めの頃は時間のかかった検索作業も、だんだんスムーズにできるようになりました。しかし、お探しの楽譜が検索で見つけれられても、その楽譜の現物を実際に探し出すことにはまだ苦戦しています。今現在の課題です。

サポーターの仕事はとても楽しいです。元々図書館は大学の中でも好きな場所なのですが、サポーターを始めてから新たな発見もあり、更に好きになりました。

サポーターの存在を知らない人が多いかも知れませんが、たくさんの人に利用してもらいたいです。探して見つからなくて諦めるのではなく、是非声をかけて下さい！

私たちが全力でサポートいたします！

多くの人に図書館を利用していただけられるように、私もサポーターのお仕事を頑張りたいと思います。

音楽学部4年 河西 拓也（管楽器コース）

探している楽譜が見つからない。探し方がわからない。図書館にあるはずなのにどこにあるのかわからない。洗足の図書館にはたくさん資料がありますが、今一つ使いこなし方がわからず、困っている方がたくさんいらっしゃると思います。そんな方のために今年度から“図書館サポーターズ”という制度が始まりました。貸出・返却カウンターの少し奥、案内カウンターに私たちがいます。

棚を見ても検索しても見つからないとき、図書館の方だけでなく、私たちにも是非相談にいらして下さい。まだ始まって間もないため、私たちも知らないことだらけですが、検索のコツもお伝えしますし、図書館の便利で楽しい利用の仕方を一緒に考えていきましょう。もしかしたら、有名でない作品や意外な編曲の作品など、たくさん見つけることができるかもしれませんよ！

【図書館員からの推薦コーナー(図書)】

『ピアノ共演法 パートナーとしてのピアニスト』

マーティン・カツ著 音楽之友社 バーコード番号J075341\$

アンサンブルや伴奏を愛する音楽家にとって必読の書である。

カレーラスやマリリン・ホーンらに厚く信頼され、伴奏の世界的な第一人者である著者が素晴らしい共演者になるためのノウハウを、ユーモアを交えながら、255の豊富な譜例とともに、極めて具体的に公開する。

「マーティン・カツの『ピアノ共演法』は、素晴らしい手引書、典礼書です」

ーフレデリカ・フォン・シュターデー
伴奏者・ピアノ共演者の聖書！

『和楽器の世界』

西川浩平著 河出書房新社 バーコード番号J0483753

三味線、琵琶、太鼓、笙、箏、篠笛・・・

日本の伝統楽器をわかりやすいカラー図解で知る。楽器の美しい外観を楽しみ、その構造、歴史、製作工程、奏法などを目で見学する和楽器図鑑！

本学講師であり、自身のグループ「ニシカワ・アンサンブル」を結成するなど、その活躍はジャンルを越えて多岐に亘っています。

『ストラディヴァリウスの真実と嘘』

中沢宗幸著 世界文化社 バーコード番号J0484271

ストラディヴァリウスは「雑音」やうねりが多く、名演奏家でもそう簡単にはいい音が出せない、難しい楽器だという。また演奏家の音を吸収する不思議な力があるそうだ。

総額25億円、4台のストラディヴァリウスの競演CD付き資料。ガダニーニ真贋事件はじめ、修復・鑑定・売買にまつわる裏話、一流音楽家の素顔など、知られざる面白いエピソード、貴重な写真も満載！

『プロコフィエフ 自伝・随想集』

セルゲイ・プロコフィエフ著 バーコード番号J048135/

プロコフィエフは「長い」自伝と「短い」自伝の二つを書き残した。1937年、46歳のときに書き始めた長いほうの自伝『プロコフィエフによるプロコフィエフ』は、生い立ちから18歳頃までの思い出が書かれている。本書は「短い」法の自伝で、生い立ちから50歳の時点までについて語っているが、こちらは主に音楽的活動、作品への思考や背景などが綴られている。大作曲家にもかかわらず関係書物が少ないので、貴重かつ必読の書といえる。

【図書館からのお知らせ】

1. “図書館サポーター” が4月からスタート！

図書館利用者の楽譜検索等をお手伝いする“図書館サポーター”が、4月16日（月）からスタートしました。これは、学部生、大学院生の有志の皆さんが、授業がある平日の午後（13時から19時まで）、図書館1階の相談コーナーに常駐し、図書館利用者の楽譜検索や探索などをお手伝いする制度です。

ただ単に検索結果をお知らせするだけでなく、検索システムの使い方、開架楽譜の配列ルールなどについてもご相談可能ですので、気軽に質問してください。サポーター一同、皆さんからのご相談をお待ちしています。

なお、短縮開館日、閉館日については図書館サポーターはおりませんので、ご留意下さい。

2. 音楽配信サービス：Naxosが自宅でも利用可能（先着100名限定）

図書館に導入している音楽配信サービス：Naxos については、昨年同様、所定の手続きを行えば館内だけでなく、自宅でも利用可能となります。ご希望の方は図書館カウンターまで申し出てください。なお、本サービスは先着100名限定となりますので早めに手続きをお願いします。利用可能期間は手続き時から平成25年3月末までとなります。

発行： 洗足学園音楽大学附属図書館
洗足こども短期大学附属図書館
発行日：2012年7月17日